

# 道の駅「瀬替えの郷 せんだ」

- 夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅
- 夏は農業実習生の受け入れ拠点に、冬は高齢者の共同生活の場として道の駅で越冬し、過疎・高齢化が進む豪雪地帯で、担い手確保と生活支援を同時に担う「道の駅」

## <地方創生拠点としての機能> 地域センター型

<b>地域福祉</b> 高齢者の生活支援、除雪ボランティア	<b>産業振興</b> 農業実習生の受け入れ	<b>地方移住等促進</b> 新規就農及び定住支援
----------------------------------	---------------------------	------------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
瀬替えの郷せんだ	新潟県	十日町市	国道252号	既設	平成13年	単独型



### 地域の課題

- ① 担い手不足**
  - ・高齢化率48.7%
  - ・地域の福祉を担う組織も構成員の高齢化が進展
  - 持続的なまちづくりが困難
- ② 高齢者の不安な冬期生活**
  - ・約4割が高齢者のみの世帯
  - ・冬の除雪、買物や通院に支障
  - 冬期の高齢者の孤立防止、生活支援が必要
- ③ 公共交通サービス低下**
  - ・路線バス1路線(1日5便)
  - ・生活関連施設へのアクセス支障(市役所 約9km、金融機関 約9km)
  - 日常サービスの強化が必要

### 夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅

**夏の機能拡張**

**冬の機能拡張**

農業実習生の受入

<せんだ元気ハウス>

除雪ボランティア

農業実習生受入施設

高齢者冬期共同住宅

空き家情報・就労情報の提供

ATM

高齢者等の移動支援

ミニスーパー

農産物直売所

地域のイベント

### <提案の先駆性・ポイント>

- 夏と冬の2面活用
- 外から人を呼び、元気を創る「夏の拠点」
    - ・農業実習生の受け入れ(「せんだ元気ハウス」に宿泊)
    - ・地方移住と新規就農の支援
    - ・地元農産物による産業活性化
  - 豪雪期に、共同生活の場となる「冬の拠点」
    - ・越冬のため「道の駅」で共同生活(「せんだ元気ハウス」で生活)
    - ・生活サービスの道の駅への集約
    - ・除雪ボランティアによる高齢者生活支援

### <実施内容>

- 担い手の確保
  - ・農業実習生の受け入れ(「せんだ元気ハウス」に宿泊)
  - ・「雪かき道場」開設による除雪ボランティアの育成
  - ・地方移住に必要な空き家情報や就労情報などのワンストップ提供
- 高齢者の生活支援
  - ・高齢者の越冬のための共同生活の場となる「せんだ元気ハウス」の設置
  - ・高齢者の移動支援(道の駅を拠点としたコミュニティバスの運行等)
- 生活サービスの集約(地域のお茶の間)
  - ・日用品販売所(ミニスーパー)、ATM、交流の場の設置
  - ・地元農産物の加工施設や直売所の設置